

～かいぼりで生態系を守ろう！～

## 和田堀池に在来生物が戻りました

3月27日午前11時、都立和田堀公園内の和田堀池（杉並区大宮2丁目）で、保護生物の放流が行われました。この放流は昨年、同公園で行われた「かいぼり」によって保護されたモツゴやギンブナなどの在来生物を、都の浚渫（しゅんせつ）工事に合わせて池に戻すものです。

また、杉並区立郷土博物館（杉並区大宮1-20-8）では、和田堀池の歴史や、今回行われた「かいぼり」の記録を紹介するパネル展示が行われています。展示は、5月6日まで開催されます。

都立和田堀公園は、昭和39年8月1日に開園。善福寺川の豊かな緑とカワセミの姿も見られる和田堀池があり、多くの利用者が訪れます。和田堀池は、昭和30年の中頃に河川改修に伴い人工的に作られたものです。しかし、この池は数年前からアオコが発生するなど水質悪化が問題となっていました。そこで池を管理する東京都は水質浄化のため、池の水を抜き、底の泥をさらって天日干しする「かいぼり」を行うことにしました。



昨年11月、公園開園以来初めてとなるかいぼり作業が始まりました。かいぼりは水質浄化だけでなく、本来いるはずのない外来生物を取り除いて、在来生物を復活させて生態系を守る有効な手段でもあります。和田堀池でもミシシippアカミミガメなど6,000匹以上の外来生物が捕獲されました。

そして本日、一時的に保護されていた在来生物が和田堀池に戻ることができました。放流に参加した区内の小学生や和田堀池に親しみを持つ地元の方たちは、これからの和田堀池がさらにきれいになっていくことを期待して、放たれたモツゴやスジエビ、ギンブナなどの行方を見守っていました。



### パネル展示 和田堀池「かいぼり」の記録

開催日時：平成30年3月16日（金）～5月6日（日） 午前9時～午後5時  
休館日：毎週月曜日・毎月第3木曜日（祝日・休日と重なった場合は開館、翌日休館）  
開催場所：区立郷土博物館（大宮1丁目20番8号）  
観覧料：100円、中学生以下無料

#### 【問い合わせ先】

都東部公園緑地事務所：電話03-3821-6964  
郷土博物館（本館）：電話03-3317-0841